

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年11月08日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2012000045"/> 整理番号 <input type="text" value="11740"/> 担当者 <input type="text" value="小野 洋一"/>
表 題	<input type="text" value="日本漢方で必要な腹部所見標準化, 教育用腹診シミュレータ"/>
技術分野	<input type="text" value="機械・加工"/> <input type="text" value="医学"/>
適用製品	<input type="text" value="医療教育"/>
目 的	<input type="text" value="日本の伝統医学である漢方医学には、腹診という日本独特の診察法が存在している。これは漢方医学的診断において極めて重要な腹部からの所見を得るためにおこなう。この所見は現代医学で用いられる一般の臨床検査や画像による検査において評価をすることは困難である。腹診シミュレータの使用は、腹診を行う際に得られる所見を標準化するためや、その所見の教育に役立つことが期待される。"/>
技術概要	<input type="text" value="腹診シミュレータは、成人男性の腹部モデルである。この腹部モデルの基本的な構造として硬質な合成樹脂製の基板を用意した。肋骨・胸骨や骨盤に相当する部分には、合成樹脂製の部材を配置した。表皮に相当する部分は実際の男性の腹部を型取りし、柔軟性のあるシリコン樹脂にて成型した。これを用いて、腹部モデルの表面を覆っている。腹部内容に相当する部分は化繊綿やウレタンフォームを使用している。表皮と腹部内容間には適切な摩擦を生じようとした。腹部モデルを圧迫した際に、内部に含まれている気体も同時に圧迫されるため、その気体により独特の不適切な抵抗感が腹部モデルに生じた。基板に複数の通気孔を設け、腹部モデルの四隅に短い脚を付けることで下部に空間をつくり、腹部モデルが圧迫された際に内部の気体は基板の穴を通して基板の下方から通過できるようにした。腹部モデル内部に、電動モーターを含む動悸発生装置を配置したのも用意した。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	役職 <input type="text"/>		
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp